

製品・サービス動向-国内

■サイバーリンク社：ビデオ会議アプリケーション向け機能拡張ソフト「VideoMeeting+」のベータ版を公開、スマートフォンのカメラ連動など

(2月25日)

CyberLink社（台湾・台北）は、ビデオ会議機能拡張ソフト「VideoMeeting+」のベータ版をリリースした。



VideoMeeting+の概要（サイバーリンク）

リモートワークやテレプレゼンスの普及にともない、ビデオ会議に対してより便利なツールやプレゼン機能が求められているという。しかし、ビデオ会議用のカメラだけでできることには限界がある。

VideoMeeting+は、スマートフォンをビデオチャット・会議ソフト（Skype、WebEx など）とシームレスに連動させ、スマートフォンのカメラで撮影した映像をワイプ画面に表示したり、ビデオ会議の録画、リアルタイムで手書きの注釈やコメントなどを加えたりできる。その上、映像の画質を補正したり、ビデオ会議の映像を録画したりもできるようになっている。なお、スマートフォンとの連動は QR コードの読み込みで完了する。

つまり、VideoMeeting+はスマートフォンのカメラ機能を組み合わせることで、会議の中にカメラを持ち歩き、固定されたビデオ会議用カメラでは映すことができない場所にあるものを相手に見てもらうこともできるようになる。従来のビデオ会議ではなしえなかったことが行えるもの。

VideoMeeting+ベータ版はサイバーリンク（日本支社）公式サイトにて無料でダウンロードができる。また、パソコン用ソフトと連動する iOS、Android アプリの無償ダウンロードも提供している。

なお、日本支社は、サイバーリンク株式会社（<http://jp.cyberlink.com/>）（東京都港区）。VideoMeeting+の製品情報も提供している。また、本ソフトウェアの OEM パートナーを募集している。

■NTT アイティ：Web 会議 ASP サービス「MeetingPlaza Version8.0」をリリース、映像コーデック VP8 などに対応

(2月26日)

NTT アイティ株式会社（<http://www.ntt-it.co.jp/>）（横浜市中区）は、Web 会議 ASP サービス「MeetingPlaza Version8.0（ミーティングプラザ）」をリリース。3月13日より提供を開始する。

新しいバージョンでは、3つの機能追加が行われた。（1）映像コーデックに VP8 を採用。従来の MeetingPlaza と比較して、帯域を 30%から最大 60%削減した。これまでよりも少ないネットワーク帯域で同品質の映像を利用することが可能になった。通信量や帯域に制限があるモバイル環境でも快適に利用できる

るとしている。また、帯域が十分な環境では映像品質を向上させて利用することも可能だ。

(2)利用者向けのログイン機能とログイン後のポータル画面を大幅に改良した。ログインIDにメールアドレスを利用することが可能になった。また、ポータル画面には、予約された会議の情報、利用可能な常設会議室の情報が一覧表示され、その画面から入室も可能になった。加えて、管理者からのお知らせをポータル画面に表示することもできるようになった。メンテナンス情報などを効率的に周知することが可能。



ポータル画面のイメージ：①お知らせ、②予約会議の一覧、③常設会議室の一覧（NTT アイティ）



仮想ファイル画面共有機能イメージ（NTT アイティ）

(3) Windowsのみで利用可能だった「仮想ファイ

ル共有機能」がタブレットなどモバイル端末でも利用できるようになった。この機能は、ファイルイメージのみを送り、共有先の端末にファイルを残さないセキュリティに配慮した資料共有機能。モバイル端末からも資料共有の開始、ペンを使った書き込み、参加者の映像・共有資料の同時表示が行える。

なお、本バージョンアップによる価格の改定はないという。NTT アイティの窓口は、映像システム事業部第一営業部。

■ ジャパンメディアシステム：Web 会議システム「LiveOn」iOS 版が新たに HD 画質に対応

(2月24日)

ジャパンメディアシステム株式会社 (<http://www.jm-s.co.jp/>) (東京都千代田区) は、自社開発製品であるビジュアルコミュニケーション (Web 会議) システム「LiveOn (ライブオン)」iOS 版のバージョンアップを 3 月上旬に実施すると発表。iPhone/iPad 端末で HD 画質に対応する。

【一般的な画質イメージ】

【バージョンアップ後：高画質対応イメージ】



※画面はハメコミ合成です

高画質対応イメージ (ジャパンメディアシステム)

今回の HD 画質対応のポイントは 3 つある。

(1) 自己映像の高画質化：自己映像の解像度が最大 1280x720p の HD 画質まで表示可能になった。また、フレーム数においては、PC 版と同様に、1 から 30 まで 5 フレーム刻みで指定できるようになった。

(2) 相手映像の高画質表示：相手映像の解像度の設定は最大 1280 x 720、フレーム数は最大 30 フレー

ムまで対応する。従来は相手側で設定している値に関わらず、アプリ側で表示される相手映像の解像度・フレーム数を固定していた。今回のバージョンアップによって上限値を超えた相手映像の表示が可能になった。

(3) 設定画面の改善：HD 対応に伴い、映像関係の設定をより簡易に行えるように画面の改善を行った。

今回の高画質化の結果、人物だけでなく製品や現場の状況などもより明瞭に映すことができ、会議以外の幅広い用途に展開が可能となるとしている。

■ブイキューブ、パイオニア VC、JIGH：多言語通訳サービス「V-CUBE トランスレーター」医療通訳に対応

(2月25日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) とパイオニア VC 株式会社 (<http://pioneer.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、多言語通訳サービス「V-CUBE トランスレーター」が医療通訳に対応したと発表。

V-CUBE トランスレーターは、インターネット回線を使い、世界中どこからでも通訳オペレーターと接続することができる映像通訳サービス。8か国語(英語/中国語/韓国語/スペイン語/ポルトガル語/タイ語/ロシア語/手話(日本))に対応し、24時間365日(言語によって利用時間が異なる)利用できる。

パイオニア VC の技術を利用した高品質な音声でオペレーターの顔が見えるリアルタイム通訳が可能。また、PCの画面共有による地図や観光ガイドなど資料を利用したコミュニケーションも可能だ。



V-CUBE トランスレーター (ブイキューブ)

今回の発表では、これまで提供してきた一般通訳、手話通訳に、医療シンクタンク一般社団法人ジェイ・アイ・ジー・エイチ (<http://jigh.org/>) (東京都港区) が提供する医療通訳サービス「mediPhone(メディフォン)」のスタッフによる医療通訳を2016年3月より新たに追加(韓国語のみ4月から開始予定)する。JIGHのmediPhoneは全国80以上の医療機関で導入実績のある医療専門の遠隔医療通訳サービス。

一般通訳サービスでは対応できなかった病状や医薬品の説明など、難しい専門用語の多い医療分野でも遠隔から通訳を行うことが可能になる。

これにより、訪日観光客の多いドラッグストアや緊急時に訪れる医療機関などで、訪日観光客と薬剤師や医療スタッフとの間での言葉の壁をなくすコミュニケーションを実現するという。また、在留外国人の多い地域においては、自治体の公的窓口において、平常時の医療制度の案内や手続き、災害等の緊急時における医療支援でも利用できるとしている。

■日本ブレケケ：ユニファイドコミュニケーションソフトウェア「Brekeke UC」の販売開始

(2月16日)

株式会社日本ブレケケ (<http://brekeke.jp/>) (東京都豊島区) は、ウェブブラウザだけでオフィスコミュニケーションを実現するパッケージソフトウェア「Brekeke UC」を4月1日より新規販売開始する。

Brekeke UCとは、オフィスのユニファイドコミュニケーションをウェブブラウザだけで実現するアプリケーションパッケージ。プレゼンス、電話、チャット、電話会議、グループチャット、ビデオ会議が全てブラウザだけで利用できるもの。ウェブブラウザさえ動けばOSの種別は問わないので、タブレットやスマホからも利用できる。クラウドサービス、オンプレミスのどちらの環境でも利用できる。

Brekeke UC は、IP PBX である「Brekeke PBX」と連携することで以下の機能を提供する。(1) WebRTC を使った内線電話、外線発信、電話会議、ビデオ会議。NTT のフレッツ光ネクストや KDDI の光ダイレクトなど IP 電話網へ直接接続可能。(2) チャット・グループチャット、ファイル転送、資料共有。(3) プレゼンスでメンバーの状況を確認。(4) Active Directory と連携してユーザ情報の設定。

Brekeke PBX は、日本国内すべての電話サービス会社の電話回線 IP 直取容認定を受けた IP PBX。国内で最も多くの IP 電話クラウドサービス事業者のプラットフォームとして利用されているという。国内メーカーのほとんどの SIP 対応 IP 電話機が利用でき、ビジネスホンのボタン保留機能を実現している。国内販売 10 年以上の実績がある。

■システム・テクノロジー・アイ：ブイキューブの「Studio Octo」を利用したオンデマンド学習コンテンツ制作サービスを提供開始

(2月29日)

株式会社システム・テクノロジー・アイ (<http://www.systemtech-i.co.jp/>) (東京都中央区) は、株式会社ブイキューブ (東京都目黒区) が持つ WEB セミナーの開催・配信ができる専用スタジオ「Studio Octo (スタジオ オクト)」を利用し、企業内教育に必要なオンデマンド学習コンテンツ制作サービスを提供開始する。



Studio Octo

(システム・テクノロジー・アイ、ブイキューブ)

システム・テクノロジー・アイが提供している学習

管理システム「iStudy Enterprise Server」は、大手金融、製造、IT など多くの企業に利用されているという。その中で、動画コンテンツによる研修を行いたいが、撮影等の技術や場所がないという声が多くあった。

そこで、今回、そういった声に応えるため、ブイキューブと連携し、Studio Octo の最新の設備と技術面をサポートする専門スタッフを活用しながら、顧客企業が簡単に独自の動画コンテンツを制作・利用できるサービスを提供開始する。1 コンテンツあたり 50 万円から。

今般、動画コンテンツを利用した研修を行いたいとの企業ニーズは非常に高まっているという。システム・テクノロジー・アイとしては、学習管理システム「iStudy Enterprise Server」を導入しているユーザに向けたサービス向上に努めるとしている。

※関連記事：定期レポート：2014年11月15日号

ビジネス動向-海外

■Vyopta 社：ビデオ会議ネットワーク監視システム開発のため 500 万ドルシリーズ A 資金調達を実施、VC からは経営アドバイス支援、人材確保も急ぐ

(2月19日)

Vyopta 社 (<http://www.vyopta.com/>) (米国・テキサス州) は、500 万ドルのシリーズ A 資金調達の実施を発表。製品開発などに今回の調達資金を投入する。

スタートアップ企業である Vyopta 社は、社内ネットワークに設置している、ビデオ会議やユニファイドコミュニケーションツールの監視・支援・最適化を行うシステム「vAnalytics」などを提供している。シスコ、ポリコム、マイクロソフト、Vidyo、Acano、Pexip などに対応している。同社としては初めての資金調達となり、AVX Partners 社などが出資を引き受けた。AVX Partners 社は成長期のソフトウェアやクラウドベン

チャー企業への投資を専門としている。

Vyopta 社はこれから数カ月の間に 35 名もの社員を採用し、2016 年には 25 人追加採用し 60 名以上の人員を確保する計画となっている。またこれに合わせて、AVX Partners 社から、企業幹部役員レベル (C-Suite level) のアドバイザーが入り、Vyopta 社のマーケティングや開発、オペレーションを支援する。

導入・利用動向-国内

■VTV ジャパン：クラボウインターナショナル、LifeSize Cloud を活用し、国内外を問わずテレビ会議に参加可能な環境を実現

(2月24日)

VTV ジャパン株式会社 (<https://www.vtv.co.jp/>) (東京都千代田区) は、株式会社クラボウインターナショナル (<http://www.kurabo-inter.co.jp/>) (大阪府中央区) へ、ライフサイズ社のテレビ会議システム「LifeSize Icon400」「LifeSize Cloud」を販売したと発表。

クラボウインターナショナルは、大手繊維・化粧品メーカーである倉敷紡績株式会社のグループ会社。大阪本社をはじめ国内に 5 カ所、海外に 4 カ所の合計 9 カ所に拠点を構えている。

同社では、2009 年にテレビ会議システムを導入し、社内コミュニケーションツールとして利用していたが、導入から 5 年以上経過したことにより保守部品の調達に困難になった。そこで、利便性の向上と費用節約を主な目的として、クラウド型テレビ会議サービスへのリプレイスが検討された。

クラウド型テレビ会議サービスについて調査を進めていたところ、VTV ジャパンのセミナーで LifeSize Cloud を知る機会を得た。自社内に専用サーバを設置する必要がなく、多地点接続などの機能をサービスの一部として利用できる点などを評価するとともに、入念な通信テストで品質確認を行い、導入を決定した。

現在は、国内だけでなく海外拠点とのコミュニケーションに LifeSize Cloud を頻繁に活用しているという。またサポートデスク業務に利用する取り組みも始まっており、海外拠点で障害が発生した時には LifeSize Cloud を使ってサポートするなど、利用の幅が広がっている。

今後は、遠隔から映像を見ながらコミュニケーションをとれるというテレビ会議ならではの長を活かし、生産物の品質チェックなどにも利用していく予定とのこと。

事例：<https://www.vtv.co.jp/casestudy/list/kurabo.html>

■Dialogic 社：ソフトバンク、社内インフラとして Dialogic 社の WebRTC 対応ソフトウェアメディアサーバを採用

(2月17日)

Dialogic 社 (<http://www.dialogic.com/>) (米国・ニュージャージー州) の発表によると、ソフトバンク株式会社 (<http://www.softbank.jp/>) (東京都港区) は、大規模な WebRTC 展開に対応した「Dialogic PowerMedia XMS ソフトウェアメディアサーバ」を社内の遠隔会議インフラとして採用した。

ソフトバンクでは、社員 17,000 人向けのセールスやトレーニングに遠隔会議を活用しており、同社にとって必要不可欠なインフラとなっているという。そういった中、システム更改の時期となり、Dialogic PowerMedia XMS をパフォーマンスから拡張性、信頼性などの面で高く評価し、採用を決定した。

PowerMedia XMS は、HD 品質の音声やビデオコーデックを搭載しているほか、音声認識 (ASR)、テキスト to スピーチ (TTS)、顔認識などの先進的な機能に対応している。

PR

■株式会社日立ハイテクソリューションズ

(テレビ会議ソリューション Acano)

<http://www.hitachi-hightech.com/hsl/products/ict/hightech-vision/acano.html/>

■ヤマハ株式会社

(USB スピーカーフォン FLX UC 500)

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

セミナー・展示会情報

<国内>

■アバイア・オフィス・モバイル・コラボレーションセミナー

日時：3月1日(火) 15:00～17:00(受付：14:30)

会場：ベルサール八重洲(東京都中央区)

主催：主催：シネックスインフォテック株式会社/日本アバイア株式会社

詳細・申込：http://sandi.jp/event/160301_avayaoffice_seminar.html

■アバイア・オフィス・モバイル・コラボレーションセミナー

日時：3月4日(金) 15:00～17:00(受付：14:30)

会場：第2吉本ビルディング(大阪市北区)

主催：主催：シネックスインフォテック株式会社/日本アバイア株式会社

詳細・申込：http://sandi.jp/event/160304_avayaoffice_seminar.html

■製造業コミュニケーション変革実践事例セミナー～リ

コー社内実践紹介：コミュニケーション改善による設計開発業務の効率化～

日時：3月7日(月) 15:00～17:00(受付：14:30～)

会場：リコー 新横浜事業所(横浜市港北区)

主催：株式会社リコー

詳細・申込：<http://www.rioh.co.jp/event/seminar/15S233.html>

■Polycom Day

日時：3月9日(水)15:30～16:30(受付:15:15～)

会場：ポリコムジャパン セミナールーム(東京都新宿区)

主催：ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

※Polycom RealPresence Debut や Polycom RealPresence Trio など紹介。

■失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー ～ビジュアルコミュニケーションツールの選び方についてデモを交えてご紹介～

日時：3月17日(木)

第1回：13:00～14:30(受付：12:30～)

第2回：16:00～17:30(受付：15:30～)

会場：APA ホテル金沢駅前 珊瑚(石川県金沢市)

主催：株式会社ブイキューブ/HTNet 北陸通信ネットワーク株式会社

詳細・申込：

https://jp.vcube.com/event/seminar/20160226_1800.html

■ワークスタイル変革 実践事例セミナー ～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめるワークスタイル変革～

日時：3月23日(水) 15:00～17:00(受付：14:30～)

会場：リコージャパン ViCreA 東京 ショールーム(東京都中央区)

主催：株式会社リコー

詳細・申込：<http://www.rioh.co.jp/event/seminar/15S243.html>

■V-CUBE Box を体験してみませんか？

日時：2月～6月 ※詳細日程は下記 URL。

会場：東京、名古屋、大阪

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：

https://jp.vcube.com/event/seminar/V-CUBE_BOX_2016.html国内その他：<http://cna.jp/cna/event-j.html>海外その他：<http://cna.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNA.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

この定期レポートの発行は月2回ですが、CNAレポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNAレポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2016年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2016年2月29日号おわり

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp